

名古屋市都市景観基本計画

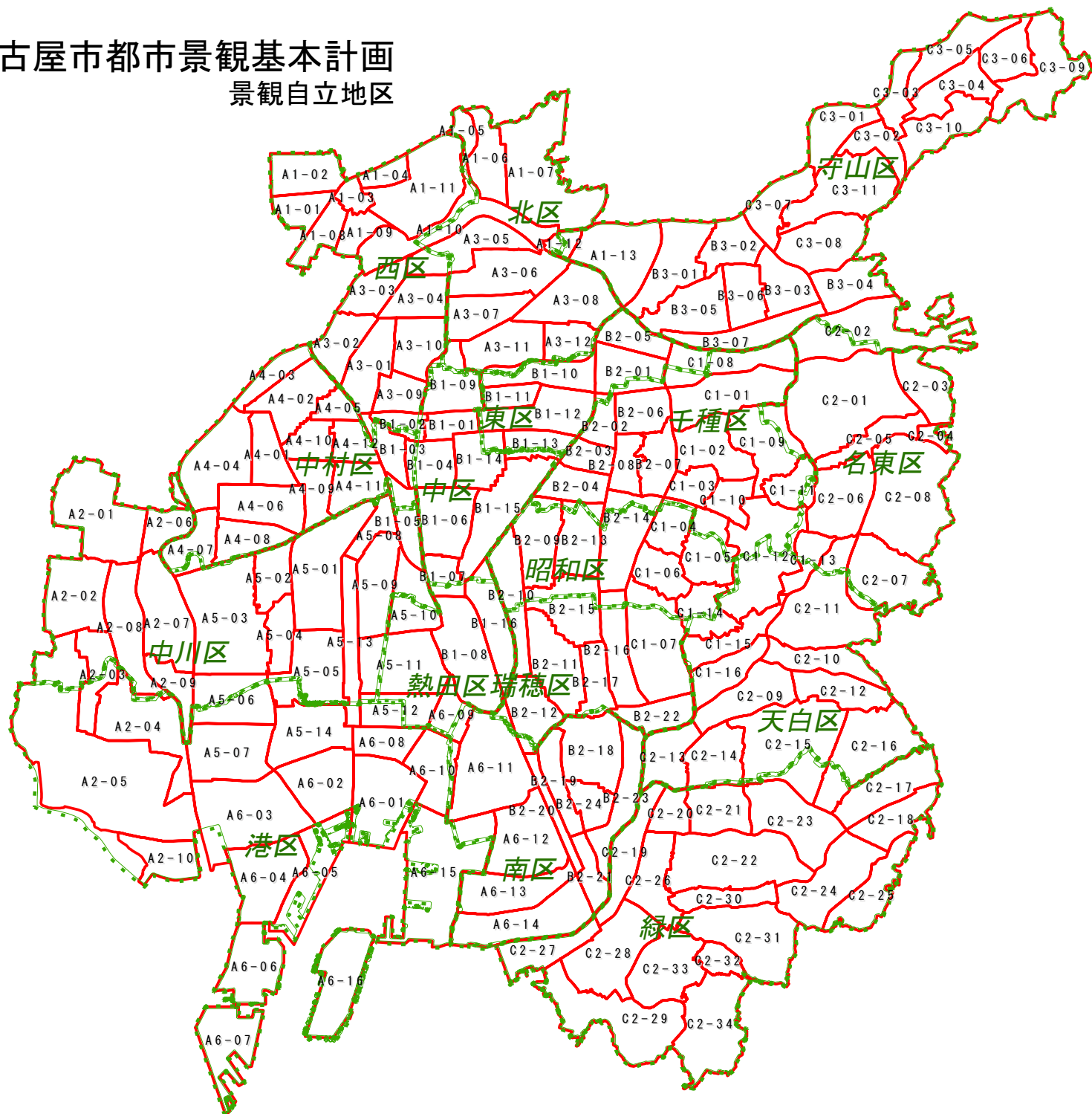
景観自立地区区域図

	区	名
	全	域
	市	
1	千	種
2	東	区
3	北	区
4	西	区
5	中	村
6	中	区
7	昭	和
8	瑞	穂
9	熱	田
10	中	川
11	港	区
12	南	区
13	守	山
14	緑	区
15	名	東
16	天	白

景観自立地区の景観整備の基本目標、基本方針は巻末の表をご確認ください



名古屋市都市景観基本計画
景観自立地区

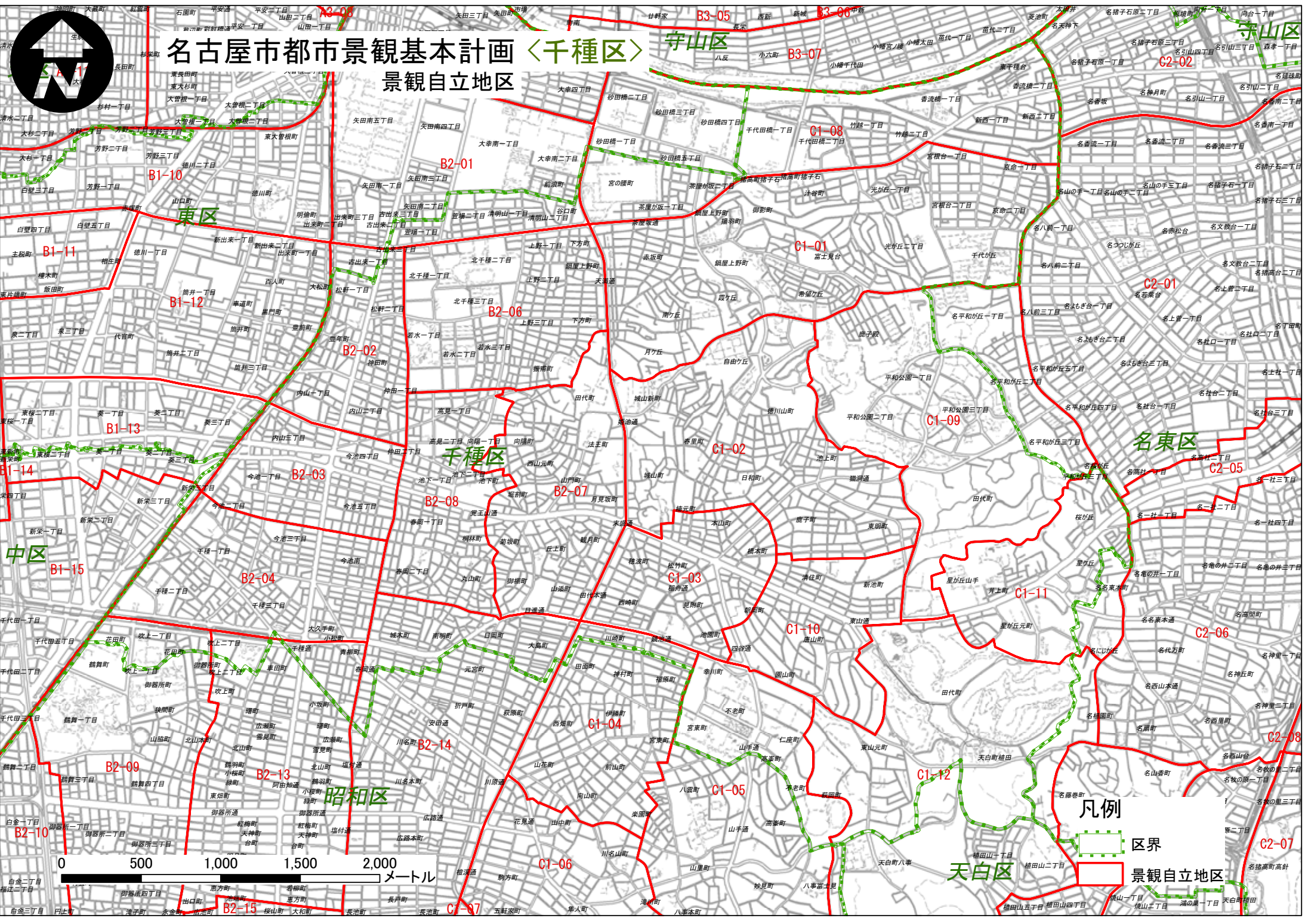
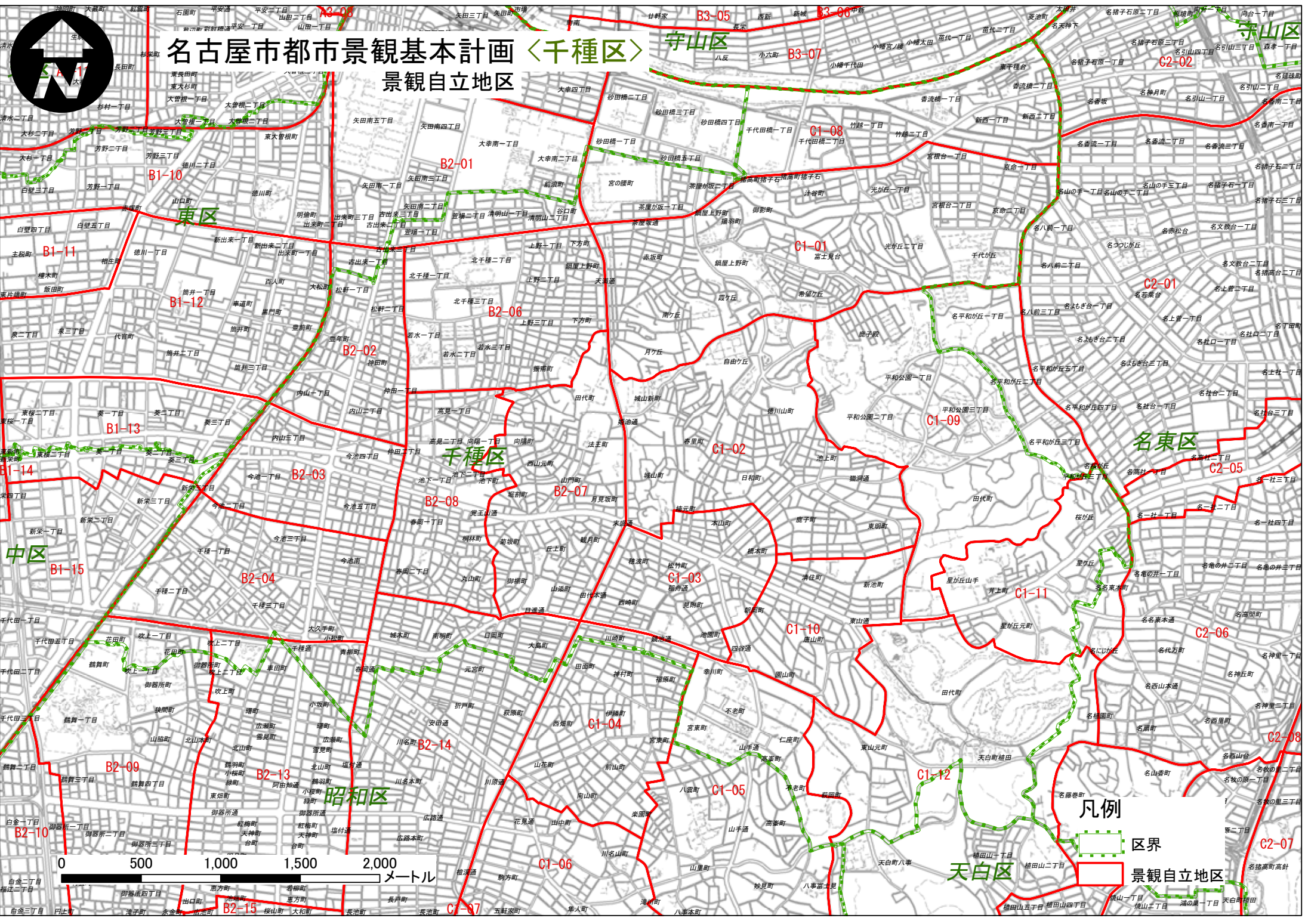


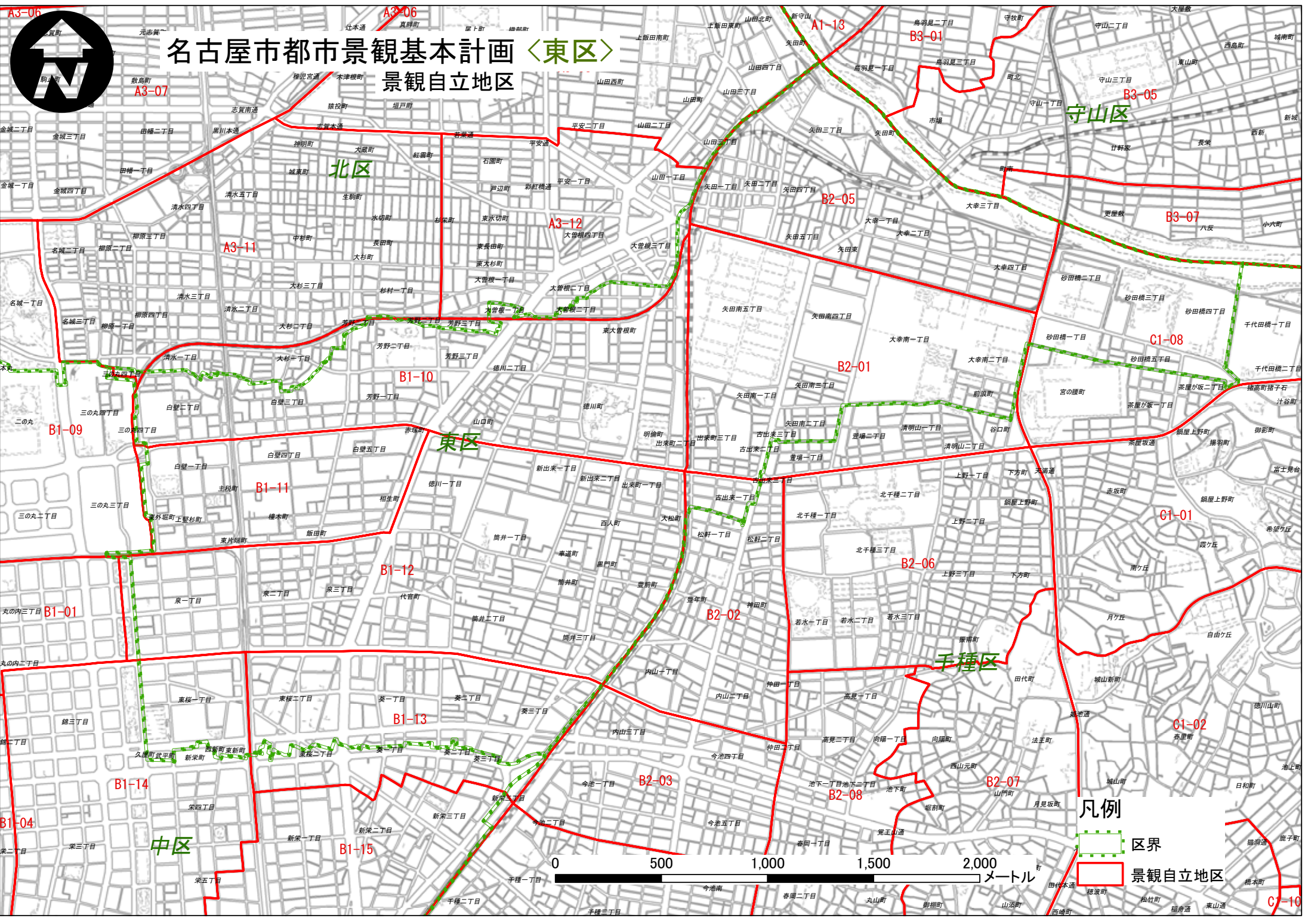
凡例



区界

景觀自立地区

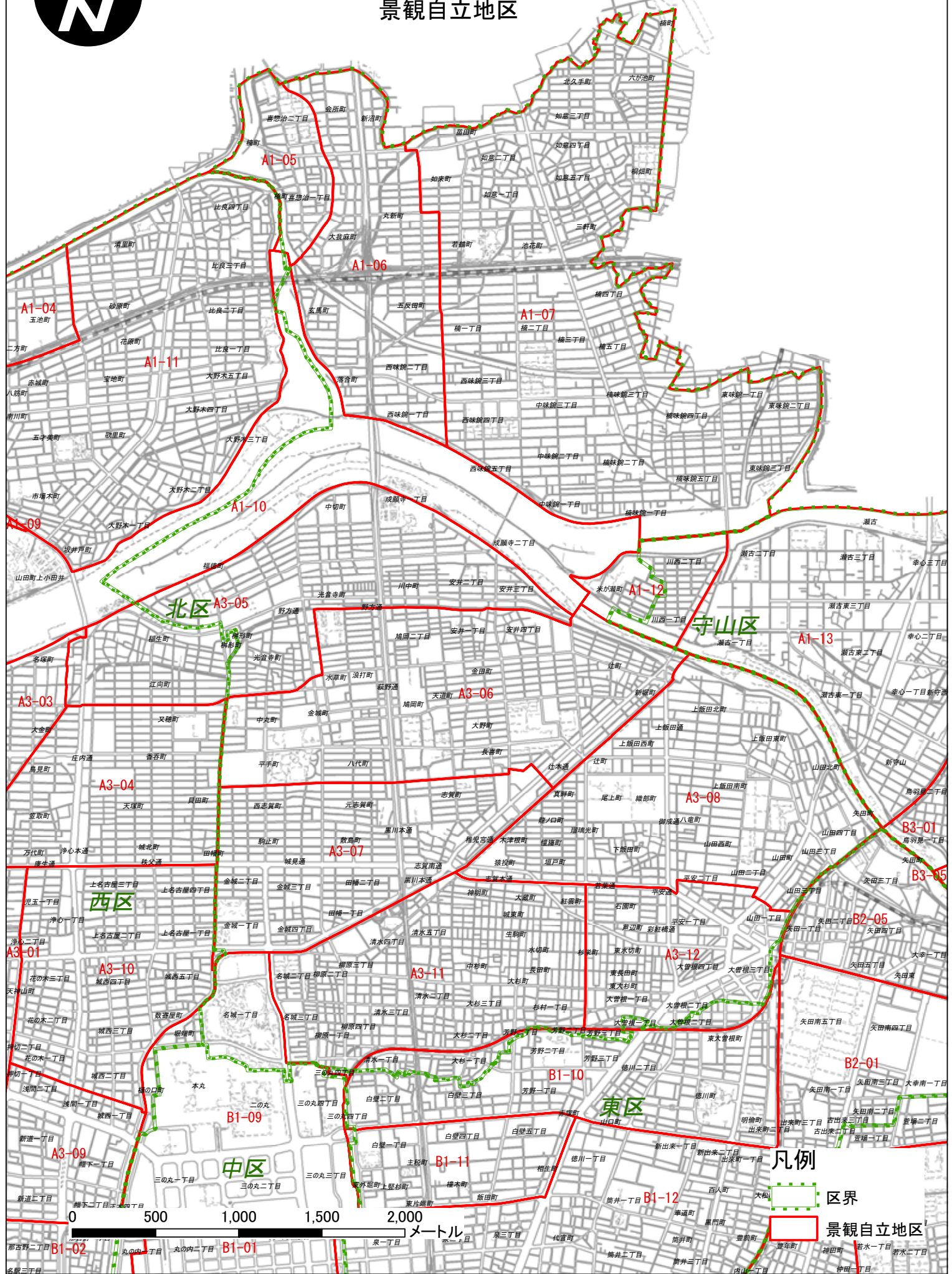






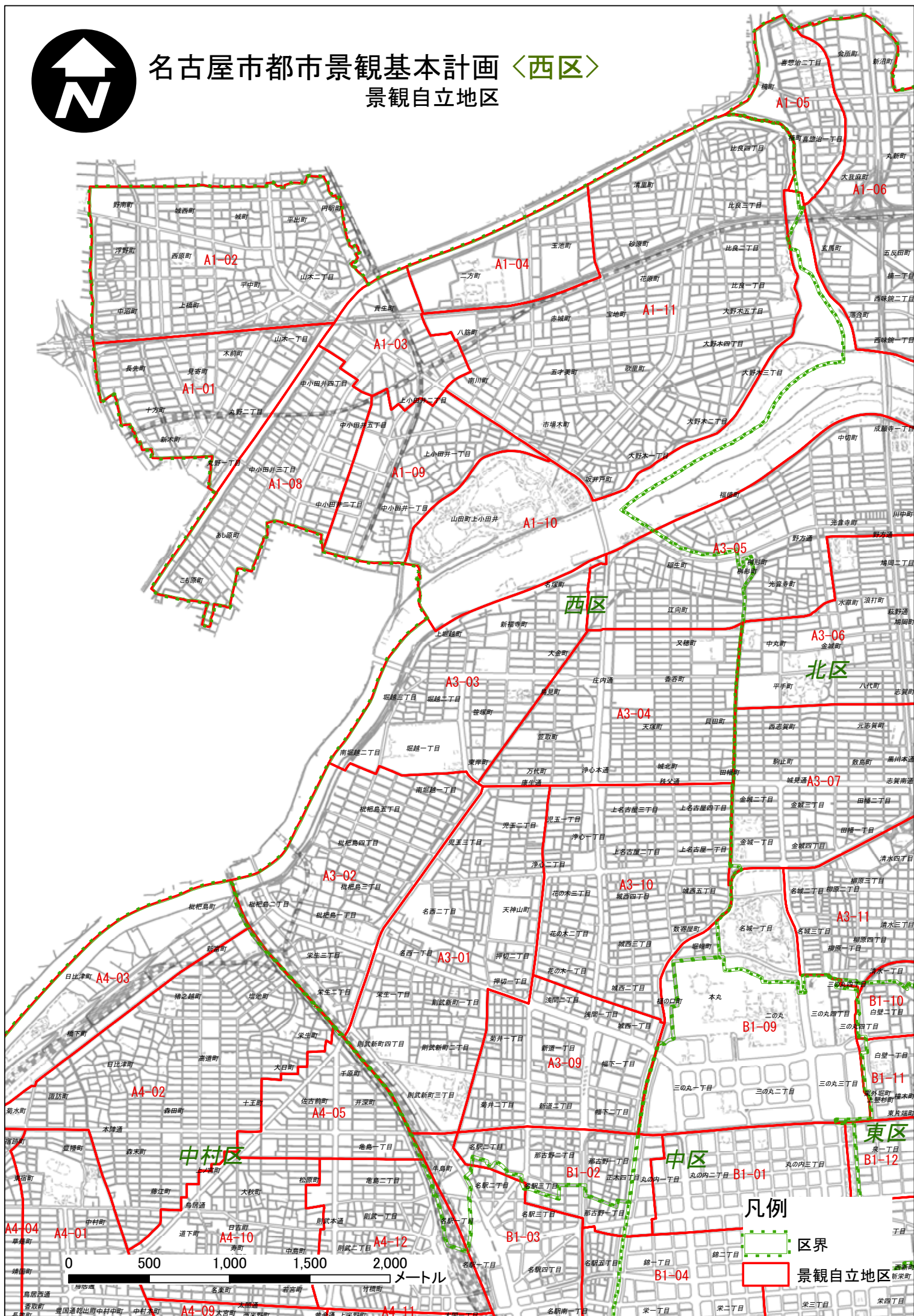
名古屋市都市景観基本計画〈北区〉

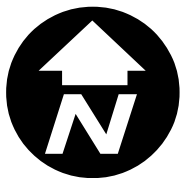
景観自立地区



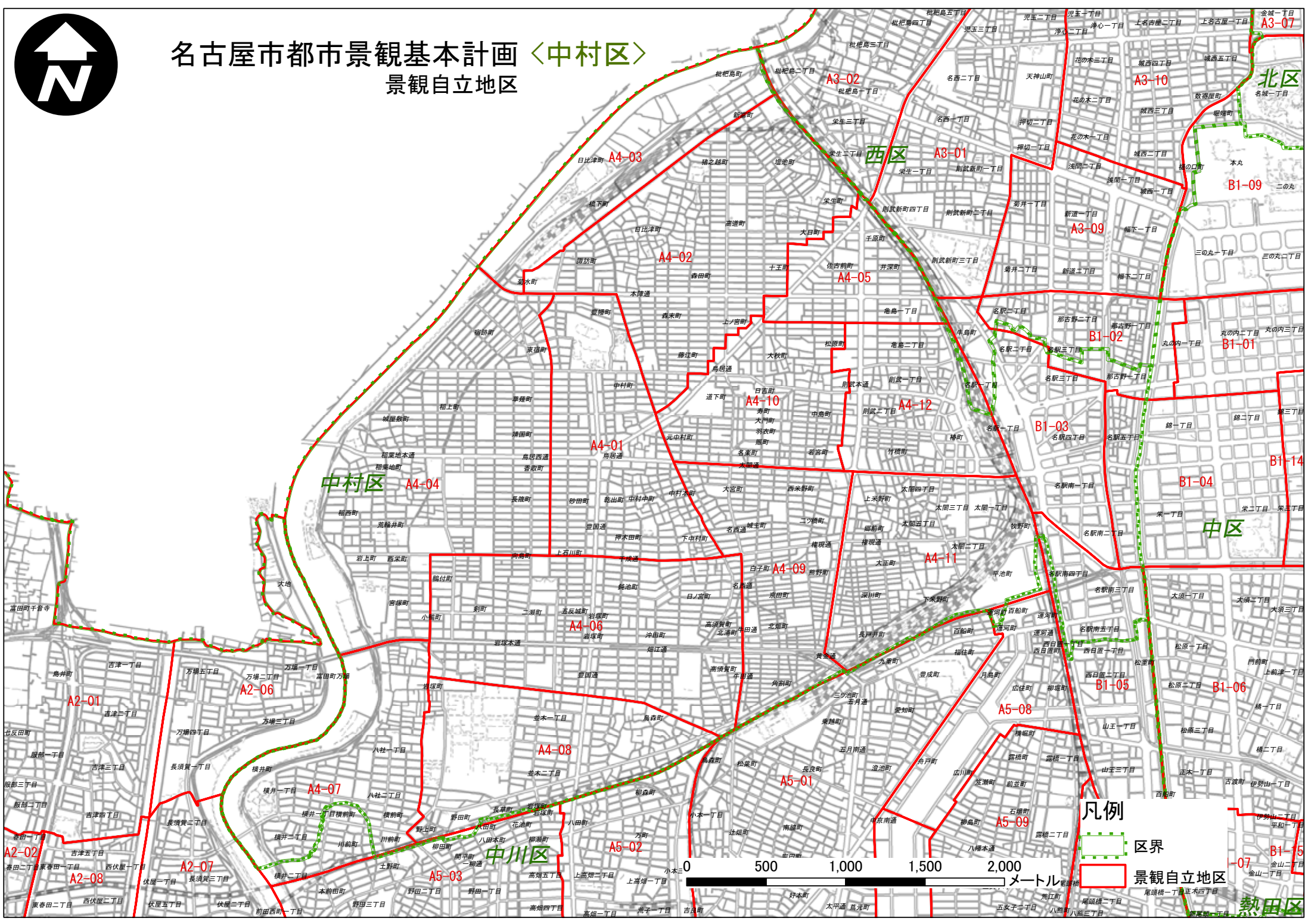


名古屋市都市景観基本計画 <西区> 景観自立地区

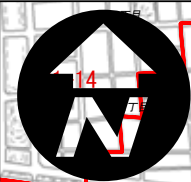




名古屋市都市景観基本計画 <中村区> 景観自立地区







名古屋市都市景観基本計画 <昭和区>

景観自立地区

千種区

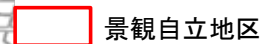
昭和区

熱田区

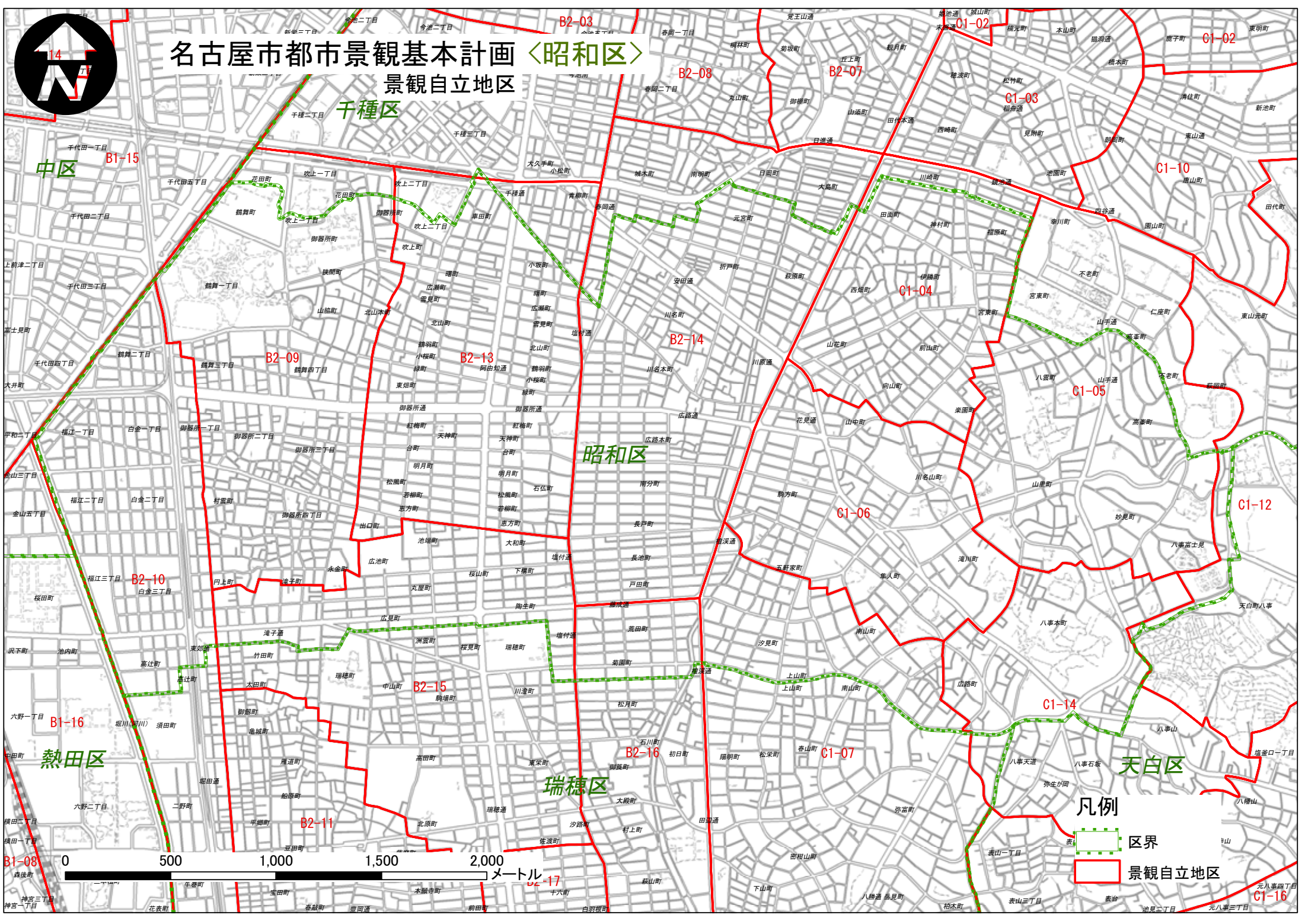
瑞穂区

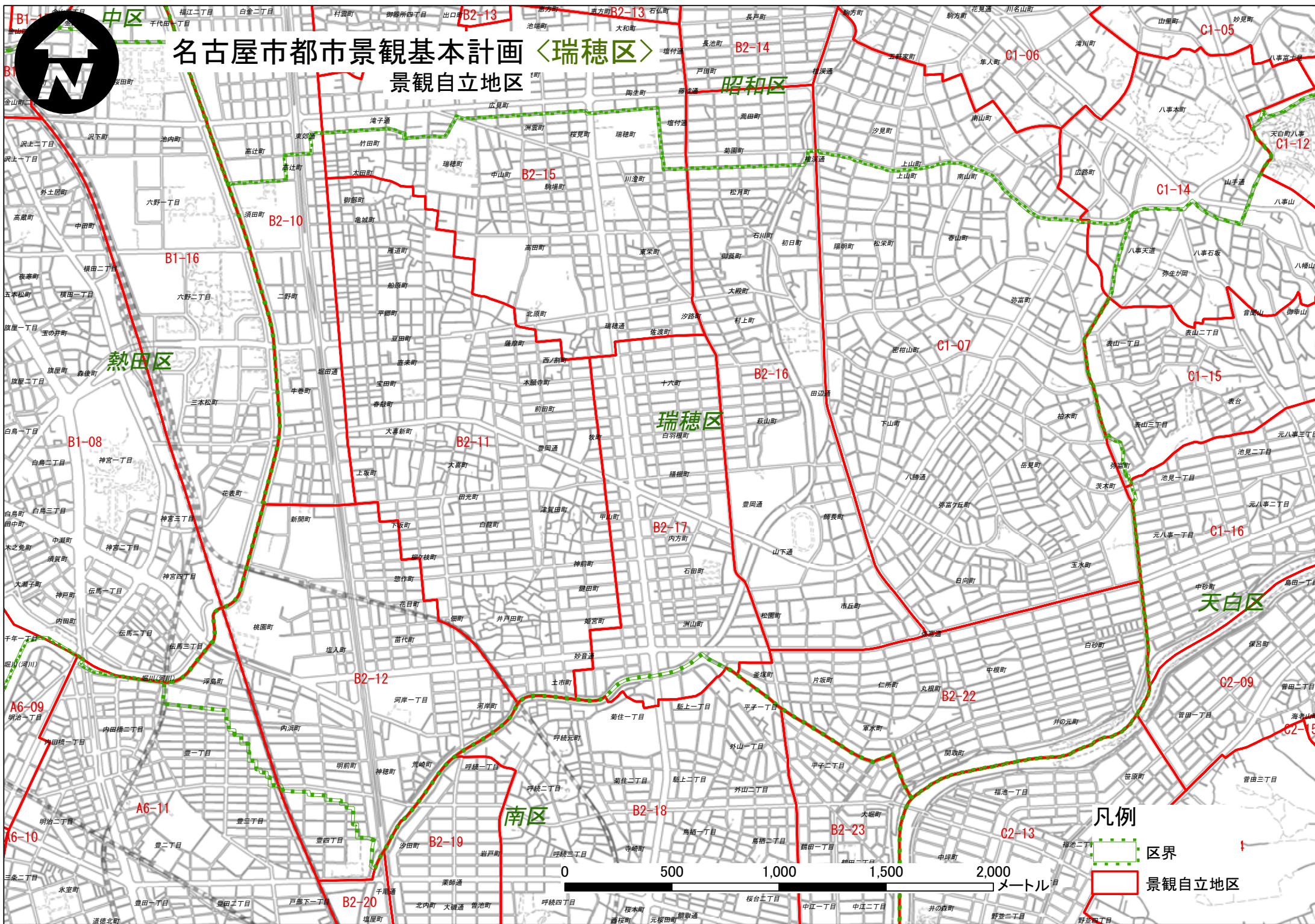
天白区

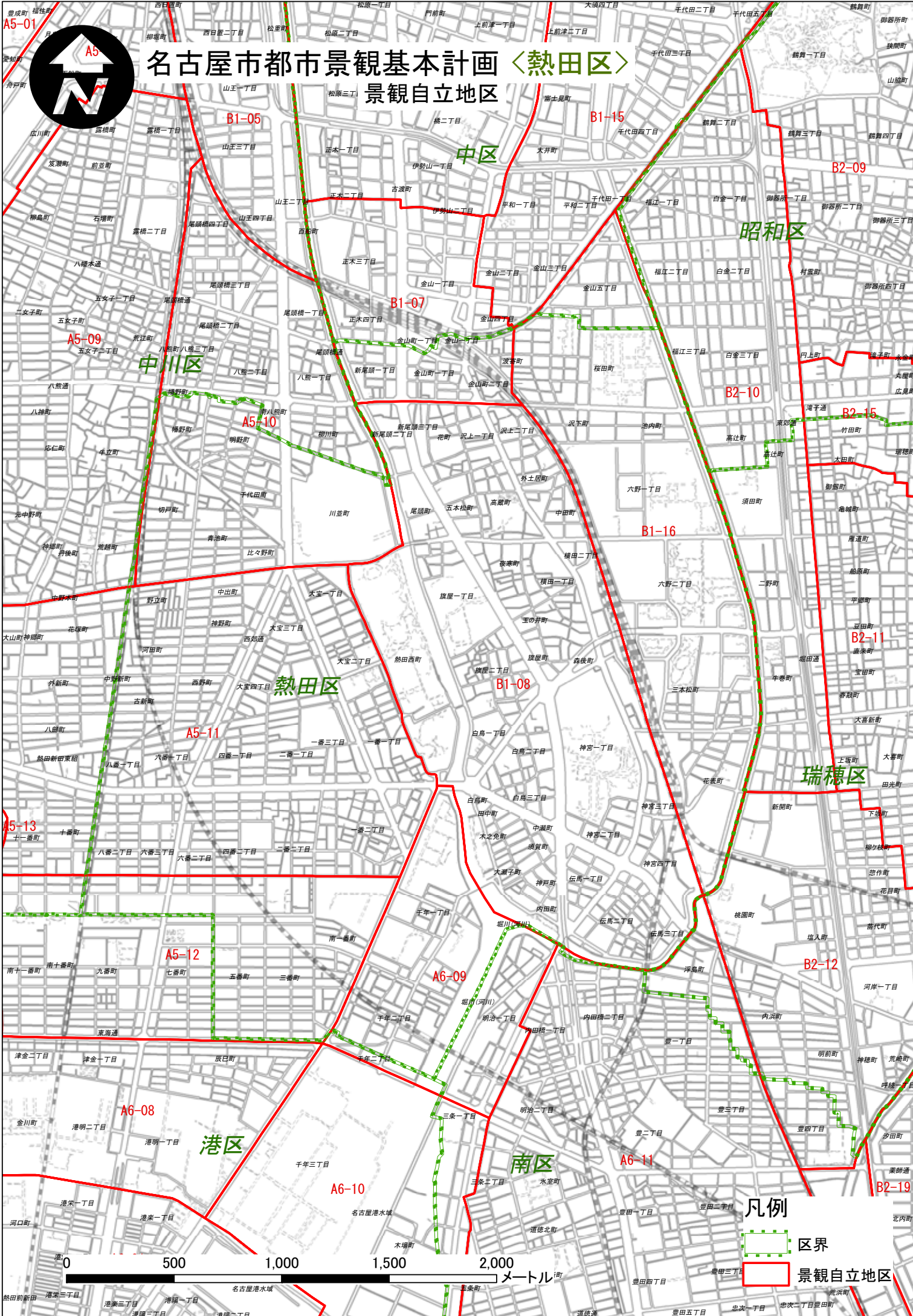
凡例



0 500 1,000 1,500 2,000 メートル







名古屋市都市景観基本計画 <熱田区> 景観自立地区

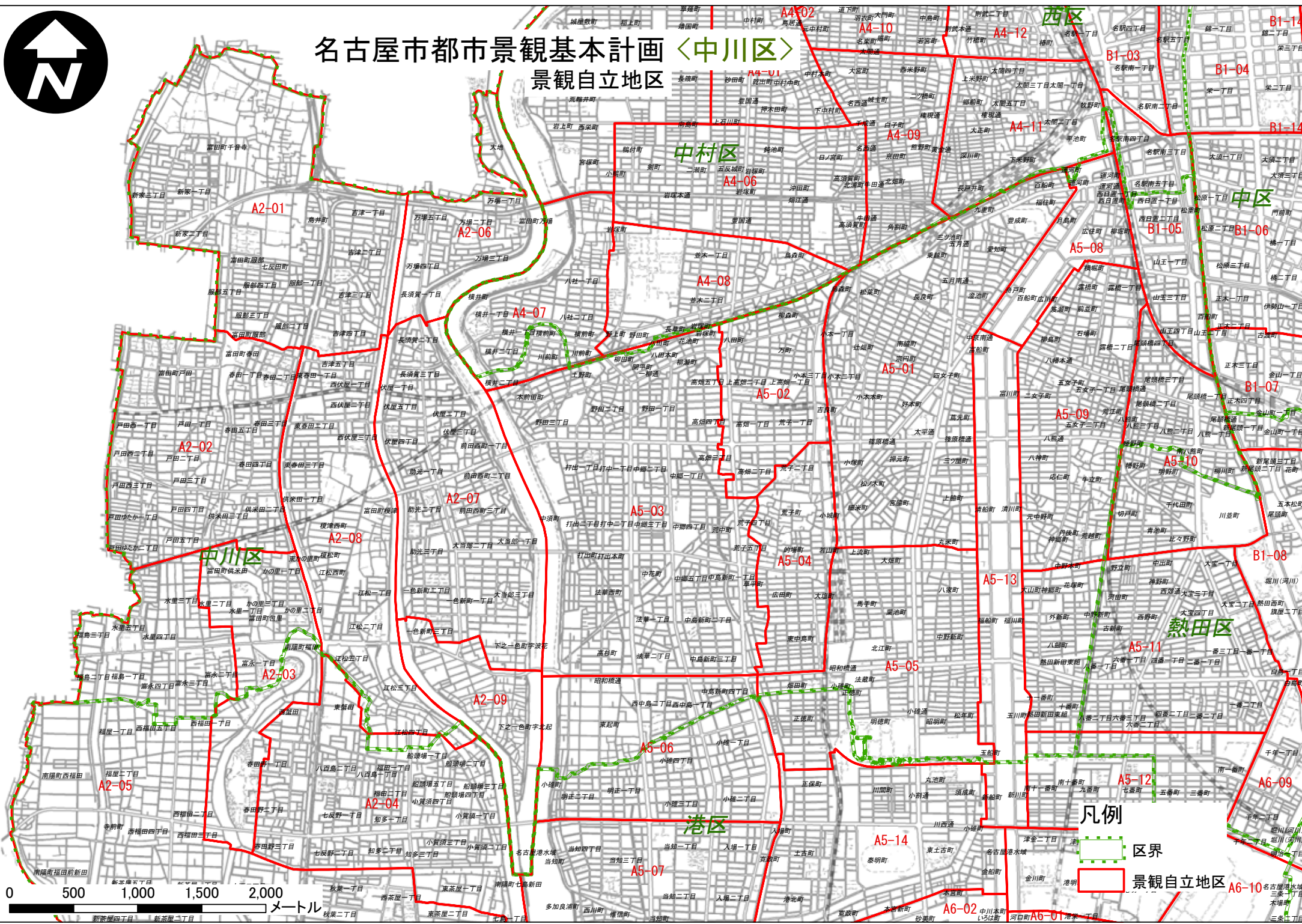


凡例
区界
景観自立地区



名古屋市都市景観基本計画 <中川区>

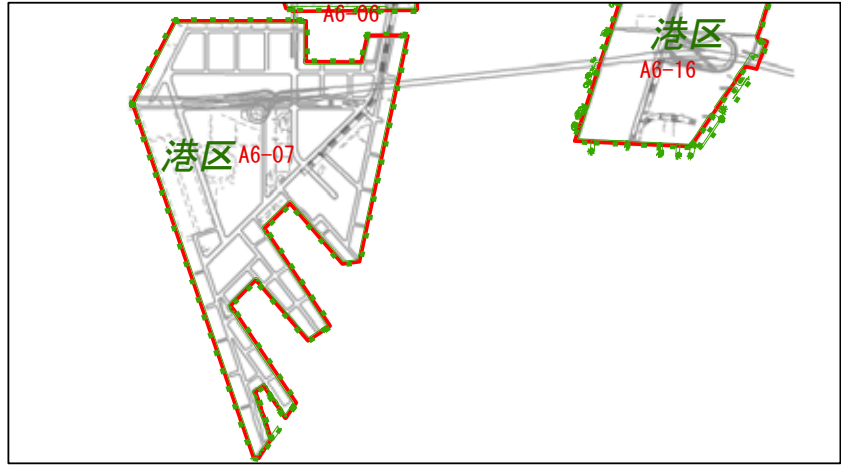
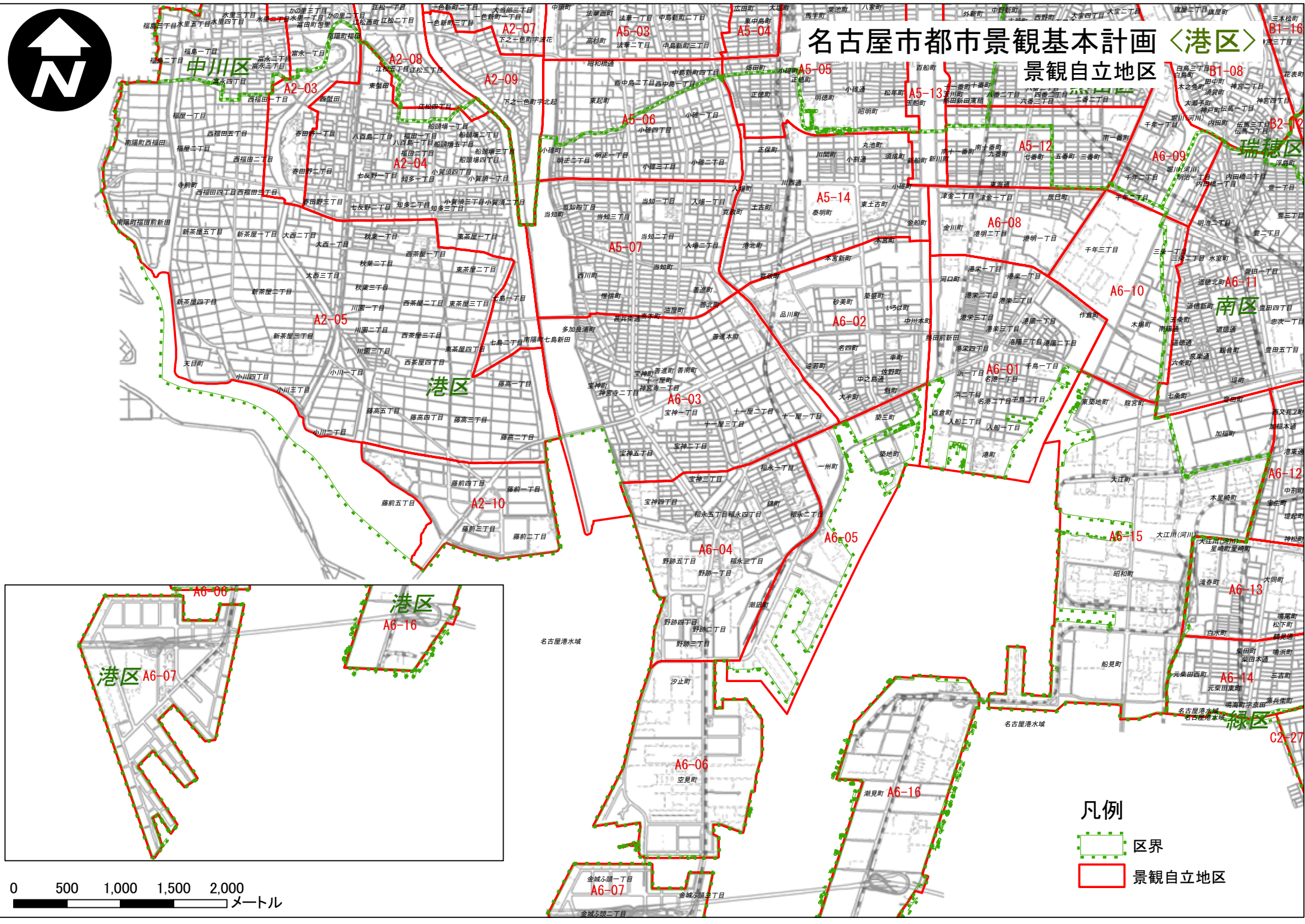
景観自立地区





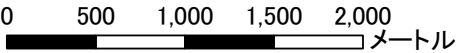
名古屋市都市景観基本計画 <港区>

景観自立地区



凡例

- 区界
- 景観自立地区

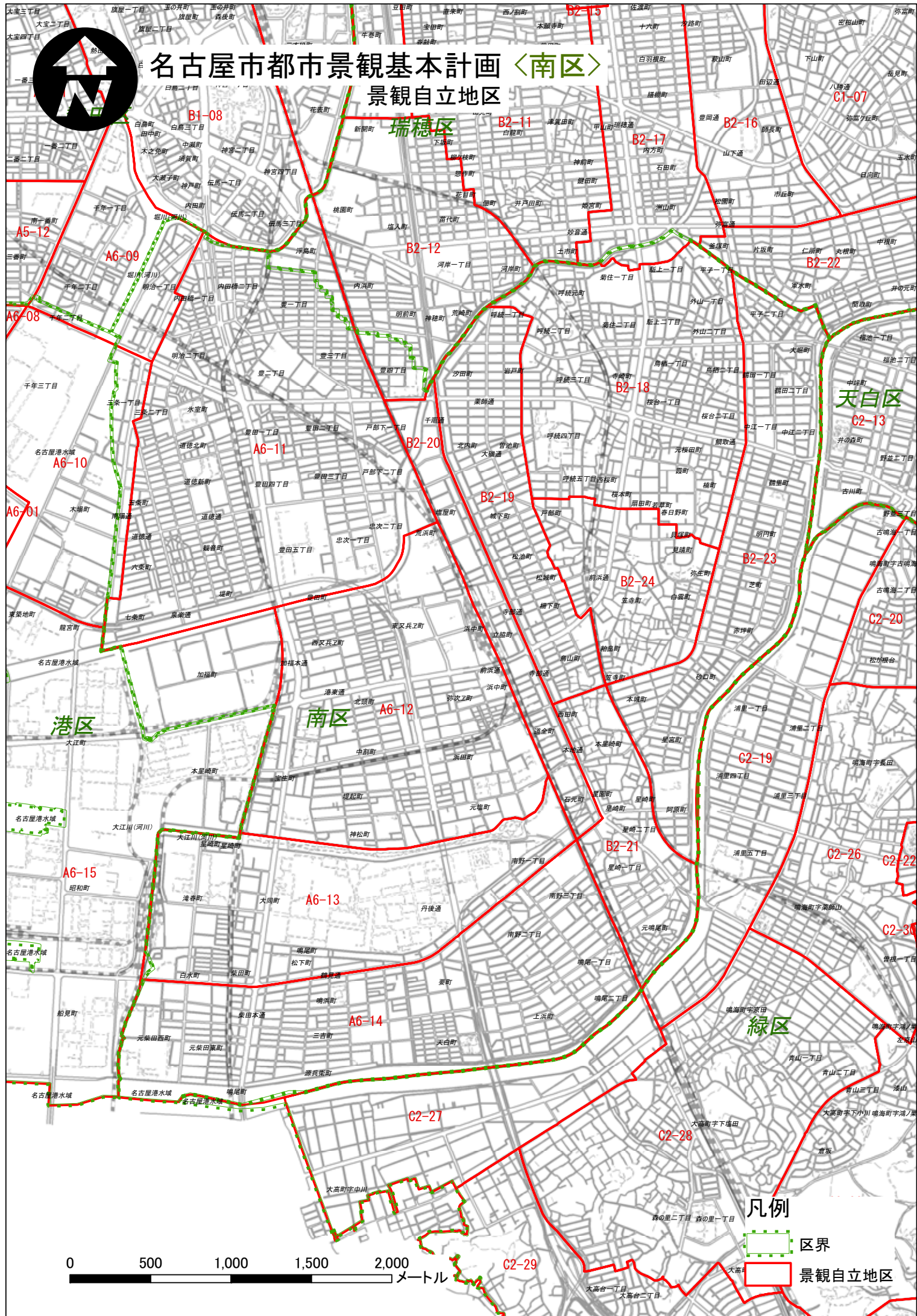




名古屋市都市景観基本計画〈南区〉

景観自立地区

瑞穂区



0 500 1,000 1,500 2,000 メートル

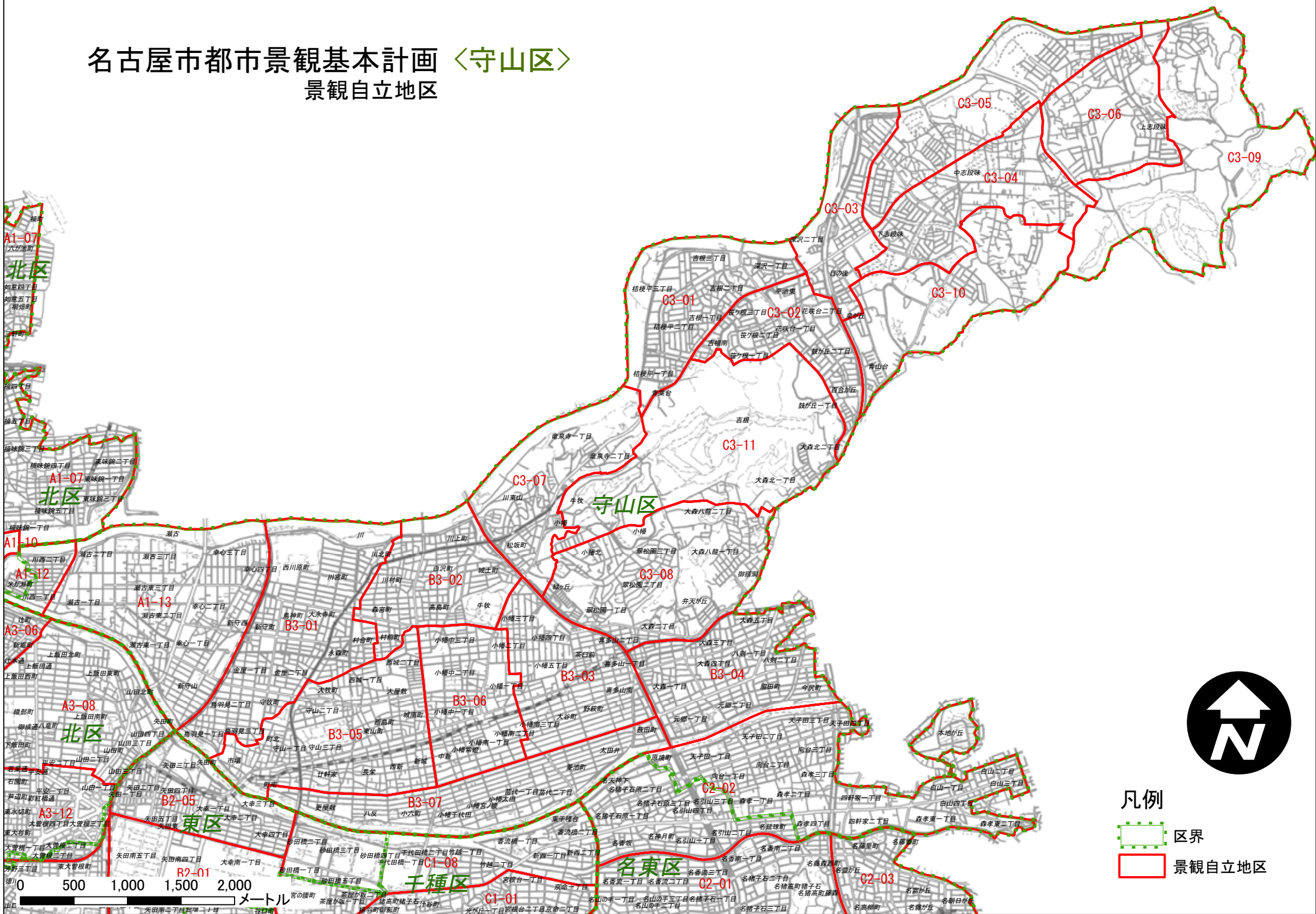
凡例

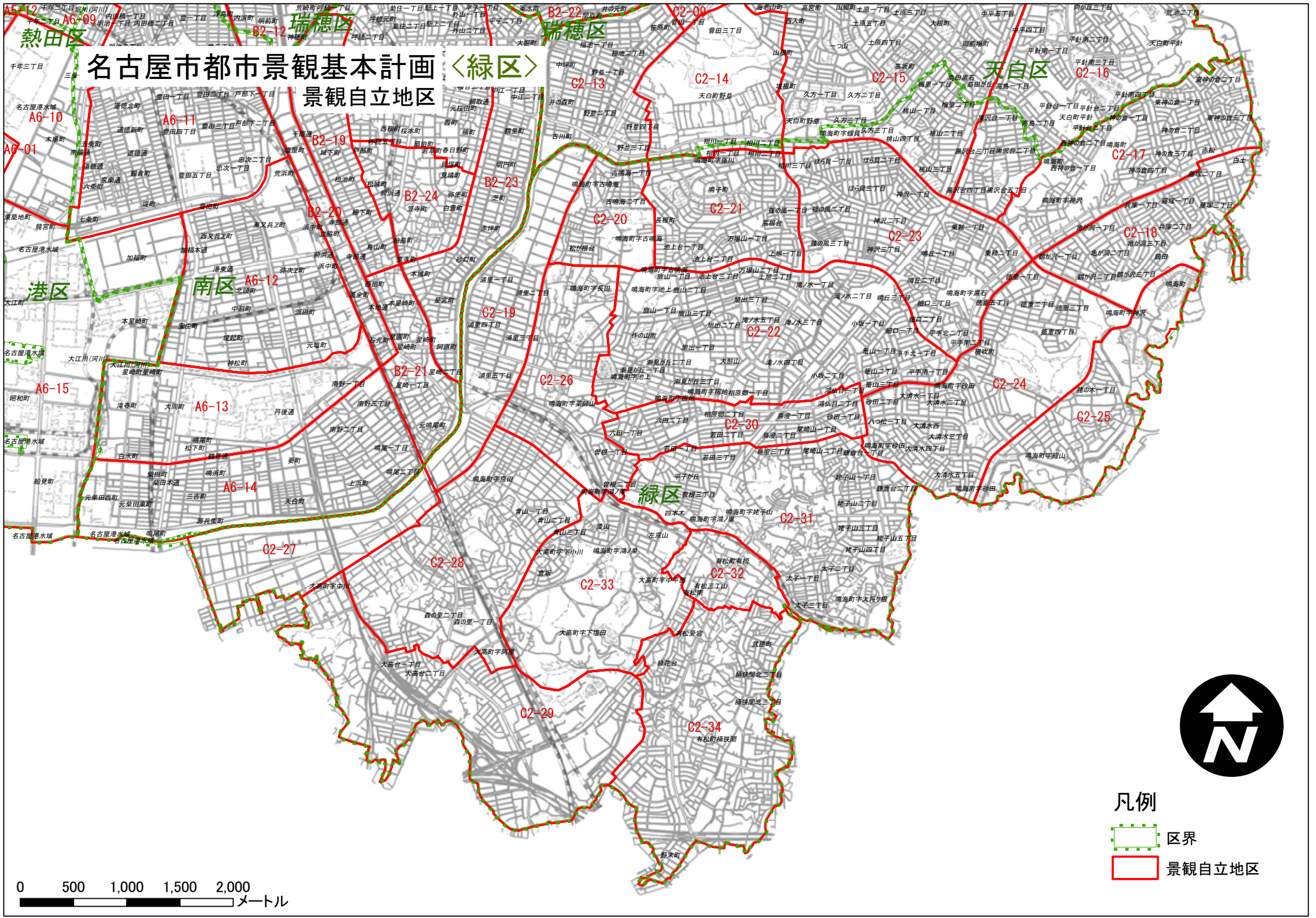
区界

景観自立地区

名古屋市都市景観基本計画 <守山区>

景観自立地区





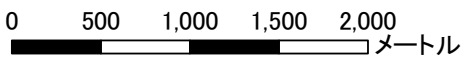
名古屋市都市景観基本計画

景観自立地区

〈緑区〉



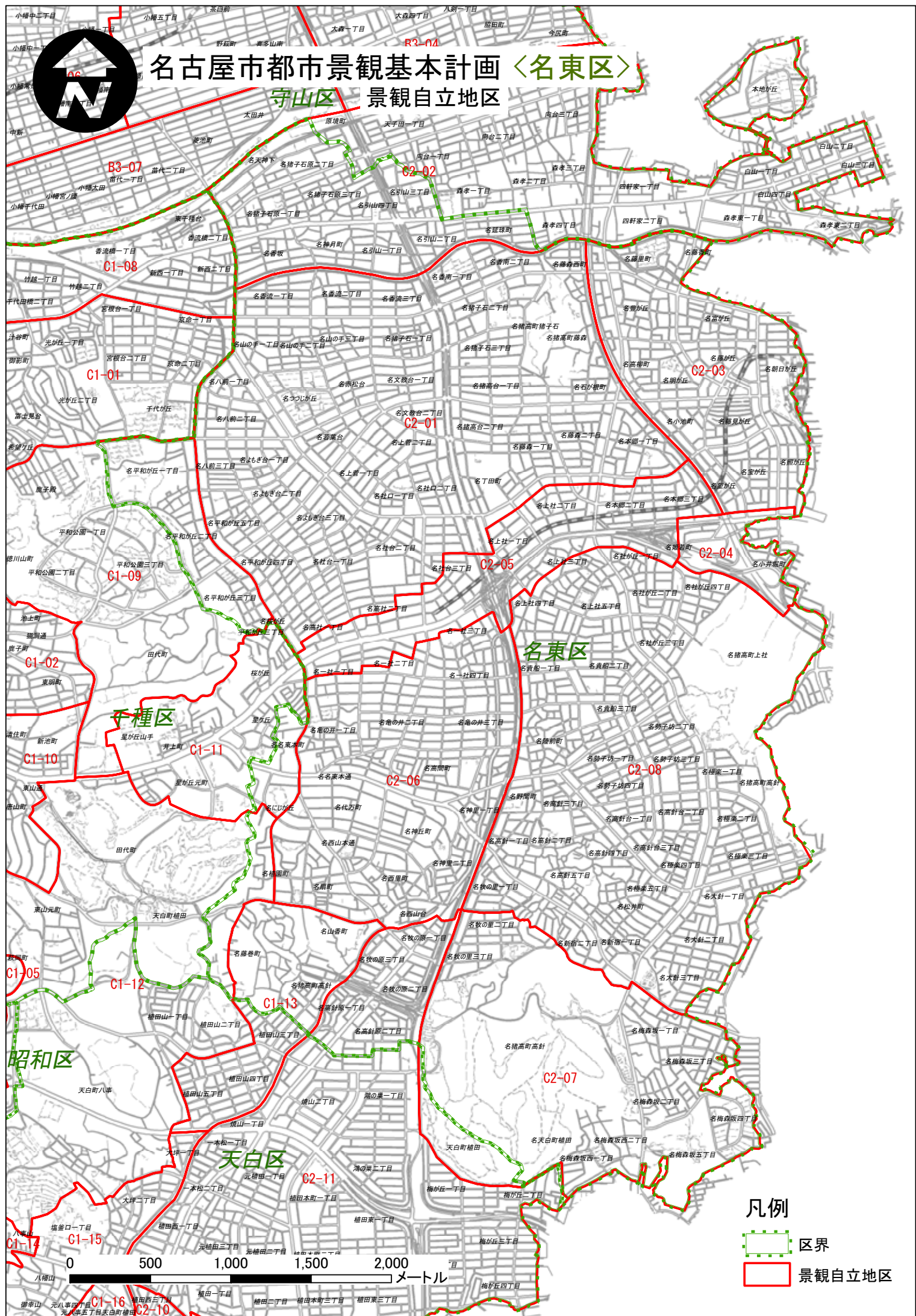
- 凡例
- 区界
 - 景観自立地区

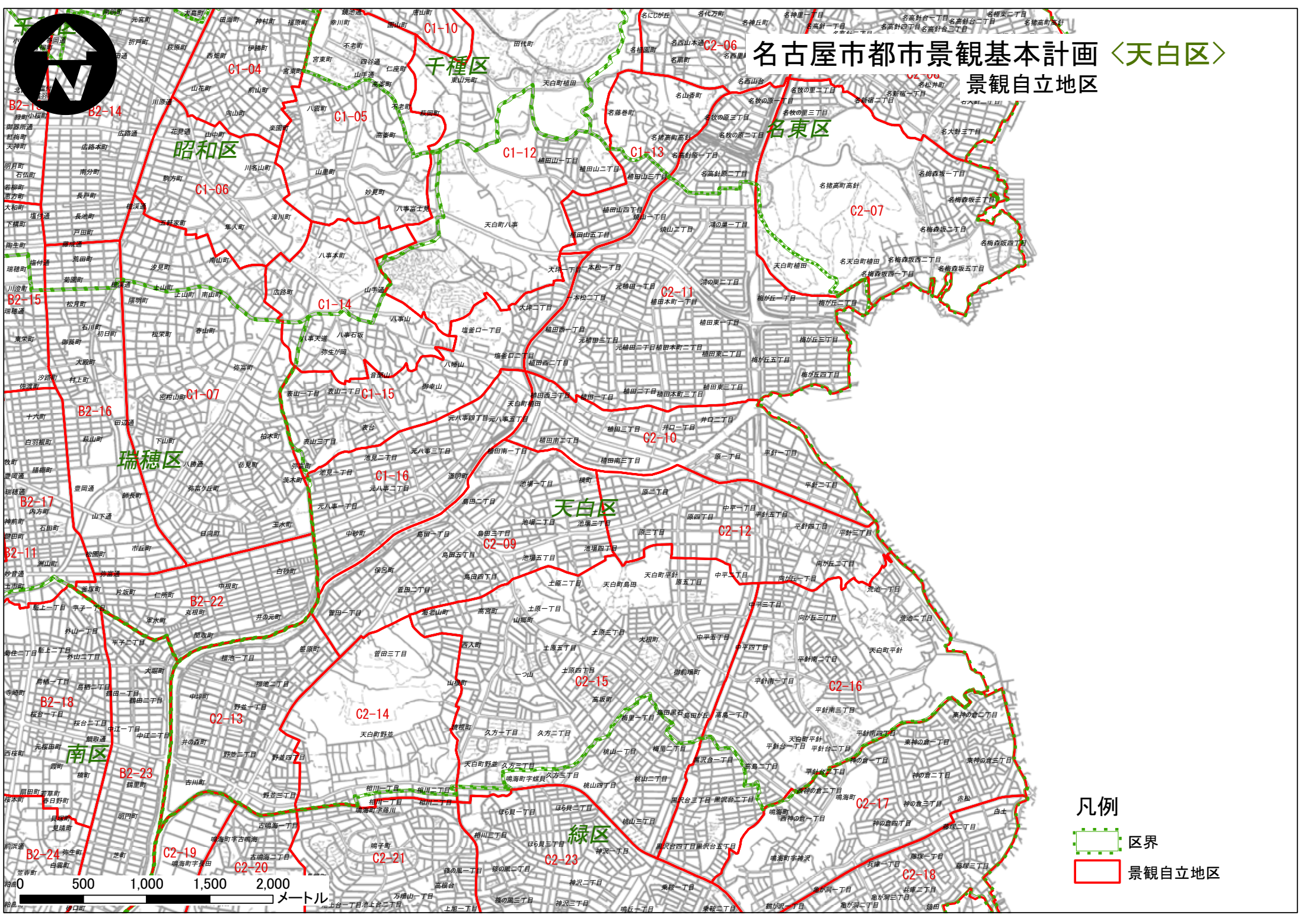




名古屋市都市景観基本計画 <名東区>

守山区 景観自立地区





名古屋市都市景観基本計画 <天白区>

景観自立地区

- 凡例
- 区界
 - 景観自立地区

景観自立地区	自立地区	景観整備の基本目標	景観整備の基本方針
A1-01	見 寄	工場・倉庫の建物に緑の映えるまちをつくる	工場・倉庫の集積するまちに緑を増やし、切妻屋根の連続した銀灰色の壁面に緑のシルエットの美しさを演出する。
A1-02	平田	住宅のまちに歴史をいかす	岩倉街道沿いや旧集落内のたたずまい、鎮守の森などを住宅地の景観づくりにいかす。区画整理でつくられた新しい住宅地と旧集落のたたずまいとが調和した明るい家並みをつくる。
A1-03	小田井（総合駅）	新しいターミナルとしての顔をつくる	小田井総合駅を中心とした地区の新しい地域中心商業地としての顔をつくる。
A1-04	二 方	工場のまちに水と緑のうるおいをつくる	新川沿岸や工場敷地外周に緑を増やし、工場のまちに水と緑のうるおいをつくる。
A1-05	喜惣治	住宅のまちに緑のうるおいをつくる	新川と新地蔵川の合流点をいかし水と緑のシンボル空間をつくる。
A1-06	国道41号沿道（大我麻）	市街、空港からの玄関の顔をつくる	国道41号（空港線）を、名古屋空港からの玄関口にふさわしい通りとし、環状2号線とのインターチェンジを北のシティ・ゲートとして整備する。
A1-07	楠	住宅のまちに水と緑と歴史をいかす	旧街道や旧集落のたたずまい、鎮守の森などを住宅地の景観づくりにいかす。新地蔵川などの水路や区画整理による街区構成をいかし、住宅のまちに水と緑のうるおいをつくる。
A1-08	中小田井	住工複合のまちに水と緑のうるおいをつくる	新川沿岸や工場敷地外周に緑を増やし、住工複合のまちに水と緑のうるおいをつくる。
A1-09	小田井	街道沿いの町並みと集落景観をまもる	岩倉街道沿いの小田井の町並み、旧集落の景観を保全し、歴史的景観をまちづくりにいかす。区画整理でつくられた新しい住宅地と旧集落のたたずまいとが調和した明るい家並みをつくる。
A1-10	庄内緑地	水と緑のシンボル空間をつくる	庄内緑地や洗堰緑地、庄内川、矢田川の高水敷をいかし、水と緑のシンボル空間、自然と親しむレクリエーション空間を整備する。
A1-11	大野木・比良	住宅のまちに水と緑と歴史をいかす	旧集落のたたずまい、鎮守の森などをいかし、河川堤防からの眺めのよい、家並みの美しいまちをつくる。区画整理でつくられた新しい住宅地と旧集落のたたずまいとが調和した明るい家並みをつくる。
A1-12	米ヶ瀬	住宅のまちに水と緑のうるおいをつくる	庄内川、矢田川に囲まれた高水敷をいかし水と緑のシンボル空間をつくる。
A1-13	瀬古・幸心	住工複合のまちに水と緑のうるおいをつくる	河川沿岸や工場周辺に緑を増やし水と緑のうるおいあるまちをつくる。旧街道や旧集落のたたずまい、鎮守の森などを住宅地の景観づくりにいかす。
A2-01	千音寺	市外西部からの玄関の顔をつくる	環状2号線と万場大橋線との交差するインターチェンジを市外西部からのシティ・ゲートとして整備する。
A2-02	富田	水郷的な風景を住宅のまちにいかす	戸田川と一体の富田の水郷的集落形態を保全し、住宅のまちに水と緑のうるおいをつくる。
A2-03	戸田川	河川の自然形態をいかした公園をつくる	戸田川の蛇行部と周囲の田園風景の一体となった自然味のある公園をつくる。
A2-04	船頭場・福田	田園の水と緑を住宅のまちにいかす	周囲の田園風景をいかし、住宅のまちに水と緑のうるおいをつくる。
A2-05	西福田・茶屋	広大な田園風景の眺めをいかす	広い田園地帯を都市緑地としていかし、うるおいのある景観をつくる。
A2-06	万場	街道と宿場の町並みをまもる	佐屋街道沿いの旧万場宿の町並みを保全し、庄内川対岸の岩塚宿とあわせて歴史的景観をまちづくりにいかす。
A2-07	伏屋・大当郎	住宅のまちに水と緑のうるおいをつくる	川と緑に特色のある明るい住宅地をつくる。伏屋駅を中心にターミナル機能を充実させ、商業地のにぎわいを演出する。
A2-08	東春田・榎津	緑のゆたかさを工場・倉庫のまちにいかす	周囲の田園風景に調和した緑のうるおいのある工場地の景観をつくる。
A2-09	下之一色	旧漁港の水産加工業と一帯の町並みをいかす	庄内川、新川に囲まれた漁村的集落をいかし、独特の景観をもつまちをつくる。
A2-10	藤前	市外西部からの玄関の顔をつくる	計画的なまちづくりによって、国道23号沿道を四日市方面から市内への玄関口にふさわしい通りとして整備する。
A2-11	藤前地先	シンボリックで親しみやすい水際線をつくる	埋立てによる新しい水際線の景観をシンボリックで親しみやすいものとする。
A3-01	児玉・押切	住宅と工場のまちに歴史をいかし緑のうるおいをつくる	住宅と工場のまちに街道沿いの旧集落をいかし、歴史の趣ある景観をつくる。
A3-02	東枇杷島	住宅と商業のまちに水と緑と歴史をいかす	住宅と商業のまちに街道沿いの旧集落をいかし、歴史の趣のある景観をつくる。庄内川、惣兵衛川をいかし水と緑のうるおいをつくる。
A3-03	名塚・堀越	住宅と工場のまちに水と緑のうるおいをつくる	庄内川、惣兵衛川をいかし、住工複合した職住近接のまちに水と緑のうるおいをつくる。
A3-04	香呑・城北	住宅と工場のまちに水と緑のうるおいをつくる	住工複合したまちに水と緑のうるおいをつくる。中心商業地や生活道路の整備により親しみのある生活環境を整える。
A3-05	成願寺・中切	住宅のまちに水と緑のうるおいをつくる	庄内川、惣兵衛川をいかし、住宅のまちに水と緑のうるおいをつくる。
A3-06	辻・中丸	住宅と工場のまちに水と緑のうるおいをつくる	庄内川、黒川、惣兵衛川をいかし、住工の複合した職住近接のまちに水と緑のうるおいをつくる。
A3-07	志賀・黒川	住宅と商業のまちに城の眺望や水辺を生かす	黒川のターミナル機能をいかして商業地のにぎわいを演出する。堀川をいかし、住商複合地の親しみある景観をつくる。
A3-08	上飯田・山田	住宅地の緑のうるおいと商業地のにぎわいをつくる	住工複合したまちに水と緑のうるおいをつくる。上飯田のターミナル整備機能をいかして商業地のにぎわいを演出する。

景観自立 地区	自立地区	景観整備の基本目標	景観整備の基本方針
A3-09	幅下・新道	問屋街や旧城下の下町的な景観をいかす	菓子、おもちゃ等の伝統的問屋街の活性化と旧城下の歴史をいかし、下町的な親しみやすさのあるまちをつくる。
A3-10	浄心・城西	城の眺望をいかし親しみのあるまちをつくる	城の眺望を地域の特徴としていかす。商店街や生活道路の整備などにより親しみのあるまちの景観をつくる。
A3-11	柳原・大杉	住宅と商業のまちに親しみのある景観をつくる	商店街や生活道路の整備などにより親しみのあるまちの景観をつくる。
A3-12	大曽根	ターミナルの顔と商業地のにぎわいをつくる	大曽根駅及び周辺商店街の整備により、市北部の拠点商業地としての顔をつくる。
A4-01	中村	公園・鳥居をいかし地域中心の顔をつくる	中村公園の緑や大鳥居を地域のランドマークとしていかす。旧集落のたたずまいをいかし、歴史と緑のうるおいのあるまちをつくる。
A4-02	日比津・栄生	住宅のまちに歴史と緑をいかす	旧集落のたたずまいをいかし、歴史と緑のうるおいのあるまちをつくる。住宅のまちの整然とした街区構成をいかし、明るい家並みをつくる。
A4-03	日比津北	庄内川をいかし水と緑のゲートを演出する	庄内川高水敷の緑地の整備とあわせ、新幹線から見た市内へのゲートイメージを演出する。
A4-04	東宿・稲葉地	住宅のまちに水と緑と歴史をいかす	庄内川、稲葉地用水をいかした緑化と旧集落の歴史的景観を住宅地の景観にいかす。
A4-05	亀島	住宅と商業、工場のまちに緑のうるおいと親しみやすさをつくる	商店街や生活道路、小広場などの整備により、緑のうるおいと親しみのある景観をつくる。
A4-06	岩塚本通	住宅のまちに緑をふやし明るい環境をつくる	住宅のまちの整然とした街区構成をいかし、明るい家並みをつくる。
A4-07	岩塚・横井山	住宅のまちに水と緑と歴史をいかす	庄内川に面した水辺の景観と佐屋街道沿いの宿場の町並みを住宅地の景観にいかす。
A4-08	八田・烏森	ターミナル整備と地域中心の顔をつくる	ターミナル整備とあわせてにぎわいづくりと地域中心としての顔をつくる。烏森の旧集落の歴史的景観をまちづくりにいかす。
A4-09	西米野・北畑	住宅地と商業のまちに緑のうるおいと親しみやすさをつくる	商店街や生活道路、小広場の整備により緑のうるおいと親しみのある景観をつくる。
A4-10	大門	住宅と商業のまちに歴史をいかしにぎわいをつくる	大門の大正木造建築群をいかし、商店街のにぎわいと個性的な景観をつくる。
A4-11	米野	住宅地を再生し新しい都市空間をつくる	木造住宅地のオープンスペースの確保と笹島貨物駅跡地の都市的土地利用の促進をはかる。新幹線から見て名古屋のランドマークとなるようなまちをつくる。
A4-12	名古屋駅西	名古屋の玄関の顔をつくる	新幹線の駅前に大都市・名古屋の玄関にふさわしい顔をつくる。
A5-01	長良・篠原	住宅と工場のまちに緑と歴史をいかす	旧集落や佐屋街道、松葉公園をいかし、住工複合のまちに豊かな緑と歴史を感じる景観をつくる。
A5-02	八田・高畑	地域中心としての顔をつくる	八田総合駅、高畑付近を市西南部の地域中心商業地としての顔をつくる。
A5-03	荒子川西	住宅のまちに水と緑と歴史をいかす	区画整理による街区構成をいかし、明るい家並みをつくる。河川沿いに緑を増やすとともに、旧集落のたたずまいをいかす。
A5-04	荒子	住宅のまちに荒子の歴史をいかす	住宅のまちに旧集落のたたずまいや史跡をいかし、歴史の趣のある景観をつくる。
A5-05	昭和橋・正徳	住宅と工場のまちに水と緑のうるおいをつくる	工場、倉庫周辺に緑を増やし周辺住宅地と調和した緑のうるおいのあるまちをつくる。
A5-06	東越・小碓	住宅と工場のまちに水と緑のうるおいをつくる	河川沿いや工場、倉庫周辺に緑を増やし、水と緑のうるおいのあるまちをつくる。
A5-07	当知・惟信	住宅と工場のまちに水と緑のうるおいをつくる	河川沿いや工場、倉庫周辺に緑を増やし、水と緑のうるおいのあるまちをつくる。
A5-08	船溜・長良橋	運河をいかし都心につながる新しい水辺のまちをつくる	中川運河の船溜、分岐点、松重閘門などの景観をいかし新しい水辺のまちをつくる。
A5-09	露橋・八幡	住宅地の歴史をいかし緑をつくる	旧集落や佐屋街道をいかし、住工の複合するまちに緑と歴史ゆたかな景観をつくる。
A5-10	尾頭橋・八熊	江川線と佐屋街道の交点を軸ににぎわいをつくる	佐屋街道や江川線をいかし、商業地のにぎわいを演出する。
A5-11	日比野・六番町	道路空間をいかし港との連続性を演出する	住工商の複合する市街地の景観に緑のうるおいをつくる。港に向かう道路や鉄道高架橋をいかしゲートイメージを演出する。
A5-12	東海通	住宅と工業のまちに緑と歴史をいかす。	新田開発以来の観音堂や氏神様をいかし、住工の複合するまちに緑と歴史ゆたかな景観をつくる。
A5-13	中川運河	運河をいかし水と緑のシンボル空間をつくる	水面に影をうつす切妻屋根の倉庫景観と一体となった水と緑のシンボル空間をつくる。
A5-14	土古	職住近接の住宅のまちに大規模公園をいかす	住宅地と一体の公園、大規模公共空間をいかしたコミュニティタウンをつくる。
A6-01	築地	国際的海上交通の拠点にふさわしい顔をつくる	築地地区を港の玄関としてにぎわいのある港まちを演出する。ガーデン埠頭を国際海洋文化の中心としてふさわしい顔をつくる。
A6-02	大手	住宅と工場のまちに水と港の香りをいかす	河川や港に向かう道路をいかし、港につづくまちのイメージを演出する。

景観自立 地区	自立地区	景観整備の基本目標	景観整備の基本方針
A6-03	神宮寺・十一屋	住宅と工場のまちに水と緑のうおいをつくる	工場・倉庫敷地外周や河川沿いの緑を増やし、水と緑のうおいのあるまちをつくる。
A6-04	稲永	住宅のまちに水と港の香りをいかす	大規模公園や金城埠頭に向かう道路をいかし、親しみやすい水辺の住宅地を特色づける。
A6-05	稲永埠頭	水に影をうつす埠頭の躍動感を演出する	埠頭の施設と接岸する船との一体となった港らしさを強調する。
A6-06	空見	水際の工場地の景観を演出する	庄内川沿岸の大規模工場地の景観を水際と緑をいかして特色づける。
A6-07	金城埠頭	国際港湾のシンボルとしてのダイナミックな景観をつくる	金城埠頭を海外からの名古屋の海の玄関にふさわしいゲートイメージを演出する。
A6-08	港明	水際の工場地の躍動感のある景観を演出する	中川運河、港北運河沿いの大規模工場敷地外周に緑を増やし躍動感のある工場景観を特色づける。
A6-09	千年・内田橋	水辺に緑を増やし熱田と名古屋の港をつなぐ	宮の渡し対岸の水際の修景などにより、熱田湊から名古屋港につづく親しみのある水辺景観を演出する。
A6-10	千年・木場	水際を緑化しリバーサイドタウンをつくる	堀川口沿岸緑化と水辺に顔をむけた住宅地景観をつくり熱田湊から名古屋港につづく親しみある水辺景観を演出する。
A6-11	豊田・道徳	住宅地、複合地に水と緑のうおいをつくる	臨海工業地に近接する住宅のまちに緑を増やし、河川をいかした水と緑のネットワークをつくる。
A6-12	大江	住宅地、複合地に水と緑のうおいをつくる	臨海工業地に近接する住宅のまちに緑を増やし、河川をいかした水と緑のネットワークをつくる。
A6-13	大同	大規模工場地の景観を緑で演出する	住宅地と近接する工場地の景観を緑で特色づける。
A6-14	柴田・南野	住宅と工場のまちに商業地のにぎわいをつくる	臨海工業地に近接する住宅のまちに水と緑のうおいをつくる。商業地に港まちらしいにぎわいを演出する。
A6-15	5～8号地	水に影をうつす工場の躍動感を演出する	のこぎり屋根が連続する水際の緑豊かな景観をつくる。水際へのアクセスを改善する。
A6-16	9号地	港のランドマークとなるアイランドをつくる	出島の形状とダイナミックな施設をいかし、港地域のランドマークとなる景観を演出する。
B1-01	南外堀	問屋街、業務街に伝統をいかし活気をつくる	基盤割、通名をいかし伝統のある問屋街のにぎわいを演出する。都心の新しい業務地らしさと活気をつくる。
B1-02	那古野	堀川と一体となった城下町の趣きをいかす	堀川と沿岸、四間道の町並みを一体的に保全、修景する。円頓寺のにぎわいを高め、下町情緒豊かなまちをつくる。
B1-03	名古屋駅前	名古屋の玄関にふさわしい顔をつくる	名古屋大都市圏の玄関として駅前公共空間にゆとりをつくるとともに、都心商業・業務地としての活気と魅力づくりを行う。駅に向かう道路の景観を特色づける。
B1-04	納屋橋・伏見	都心商業、業務地に文化・娯楽機能をいかす	広小路通を軸に繁華街としての限界性を高める。白川公園や科学館、美術館をいかし緑と文化のうおいのある都心の景観をつくる。納屋橋周辺を堀川と一体的に演出する。
B1-05	六反・山王	運河と閘門をいかした水辺のまちをつくる	堀川、中川運河をいかし水辺にうおいのあるまちをつくる。松重閘門をランドマークとして保全する。
B1-06	大須・橋・正木	商業、住宅地に寺町、門前町の景観をいかす	大須商店街に門前町の雰囲気や限界性をいかし、庶民文化の中心となるまちをつくる。住宅のまちに寺社などの歴史的景観をいかす。
B1-07	金山	都心と熱田の接点、ターミナルの顔づくり	都心と郊外や熱田、港方面を結ぶ市南部の拠点ターミナルとしての顔をつくる。台地頂部の地形をいかし、象徴的な都心の景観をつくる。
B1-08	熱田	宮の象徴性を高め歴史公園的景観をつくる	熱田の森、宮の渡し、高蔵の丘などの歴史資産を保全し、堀川とあわせて熱田台一帯の史跡公園イメージのまちにす。
B1-09	名古屋城郭内	城の象徴性を高め、公園的環境の官庁街をつくる	名古屋開府のシンボルとなる城郭を演出する。市民に開かれた公園的環境の官庁街をつくる。
B1-10	清水・徳川町	住宅、文教地に坂と緑をいかす	緑と地形の変化に富んだ閑静な住宅地の景観を保全する。坂道をいかし緑のネットワークをつくる。
B1-11	白壁	塀と塀ごしの緑に特徴づけられた町並みを保全する	塀と塀ごしの緑が特徴的な町並みをもつ住宅地景観を保全する。武家屋敷町イメージを演出し修景する。
B1-12	筒井・百人町・泉	住宅地、商店街に城下の趣きをいかす	城下東の寺町、武家屋敷町の歴史的景観をいかす。昔からの商店街に歴史性をいかしたにぎわいを演出する。
B1-13	新栄・車道	都心に続くまちのイメージを演出する	広小路通沿道の栄につづく都心イメージを演出する。都心近接の商業・業務、住宅地の個性を演出する。
B1-14	栄	名古屋の都心にふさわしい顔をつくる	中部圏の中核都市名古屋にふさわしい象徴的な都市空間を創造する。情報・文化の拠点となる昼夜のにぎわいと繁華性のあるまちをつくる。
B1-15	鶴舞西・大池	住宅と業務の複合地に水と緑のうおいをつくる	広い幹線道路や新堀川沿岸をいかし緑豊かなまちをつくる。高層住宅化とあわせてゆとりのある住環境を確保する。

景観自立地区	自立地区	景観整備の基本目標	景観整備の基本方針
B1-16	神宮東	水辺の景観と熱田の森の眺望をいかす	新しい住宅地づくりに水辺の景観を活かす。熱田の森の眺望をいかし緑豊かなまちをつくる。
B2-01	矢田南	ターミナルに続く学園と住宅のあるまちにぎわいとうるおいをつくる	大規模な工場用地を活用し、大曽根と連担するにぎわいのあるまち、学園と住宅のあるまちをつくる。
B2-02	都通	住宅のまちに親しみとうるおいをつくる	商店や工場の混在する密度の高い住宅地に緑を増やし、うるおいのあるまちをつくる。
B2-03	今池	昼も夜もにぎわいのある商業・娯楽のまちをつくる	交通拠点としての立地条件をいかし、商業・娯楽のまちに昼夜のにぎわいを演出し拠点商業地の顔をつくる。
B2-04	古井ノ坂・大久手	街道沿いの商店街のある住宅のまちににぎわいと親しみをつくる	飯田街道や日進通などの商店街のにぎわいのある親しみやすい住宅のまちをつくる。
B2-05	矢田	街道沿いの住宅のまちに水と緑をいかす	矢田川沿いを緑化し長母寺の緑をいかす。瀬戸街道の街道らしい雰囲気을いかした商業的にぎわいを演出する。
B2-06	若水・下方	学園と住宅のまちを豊かな緑でつつむ	公園や文教施設の緑を充実する。住宅のまちになだらかな傾斜地の緑をいかし、落ち着いたきのある景観をつくる。
B2-07	覚王山	にぎわいのある峠道と門前町をいかしたまちをつくる	広小路通の峠越えのゆるやかな曲線をいかし沿道の商業的にぎわいを演出する。日泰寺参道の門前町のにぎわいを演出する。緑の多い静かな住宅地の景観をまもる。
B2-08	池下	丘陵部への変化を感じさせるターミナルと商業地のにぎわいをつくる	台地と丘陵の境にあたる地形の変化をいかし、ターミナルを中心とした商業的にぎわいのあるまちをつくる。
B2-09	鶴舞・御器所	公園・文化施設や学園をいかしたまちをつくる	住宅のまちに大学や文化的施設、公園の緑をいかし、うるおいのある景観をつくる。商店街の大学と一体となった若々しいにぎわいを演出する。
B2-10	白金・牛巻	新堀川の水際をいかした親しみあるまちをつくる	新堀川沿岸の住宅地や工場地に緑を増やし、親しみとうるおいのある景観をつくる。新しい都市型の工場景観をもつまちをつくる。
B2-11	雁道・井戸田	集落や社寺の緑、坂道をいかしたまちをつくる	なだらかな傾斜地にそった旧集落のたたずまいや社寺、史跡をいかし、緑の多い落ち着いたきのある景観をつくる。商店街のにぎわいをもつまちをつくる。
B2-12	堀田	商店街のにぎわいと活気のある都市型の工場のまちをつくる	堀田駅周辺の商業地のにぎわいを演出する。新しい都市型の工場景観をもつまちをつくる。
B2-13	阿由知通	整然とした街区の落ち着いたまちをつくる	住宅のまちの整然とした街区構成を生かし、宅地内に緑のある落ち着いたきのある景観をつくる。
B2-14	川名・石川橋	整然とした街区をいかし水と緑のうるおいのあるまちをつくる	住宅のまちの整然とした街区構成、宅地の緑、山崎川をいかし、水と緑のうるおいのある景観をつくる。
B2-15	滝子・桜山	若々しいにぎわいのあるまちをつくる	桜山交差点を中心に商業地の若々しいにぎわいを演出する。住宅地の中にいくつかの大学がとけこんだまちをつくる。
B2-16	瑞穂公園・山崎川	水、緑、坂と公園をいかしたまちをつくる	住宅のまちに山崎川や傾斜地の緑、スポーツに親しむ公園をいかし、うるおいのある景観をつくる。
B2-17	新瑞橋・瑞穂通	水と緑と坂をいかしたにぎわいとうるおいのあるまちをつくる	新瑞橋交差点を中心に商業地のにぎわいを演出する。山崎川をいかし、水と緑のうるおいのある住宅のまちをつくる。
B2-18	呼続	東海道沿いの歴史的景観をいかしたまちをつくる	東海道や旧集落のたたずまい、社寺などの歴史的景観や傾斜地の緑を住宅のまちにいかす。
B2-19	大磯通	商店街のにぎわいと住宅地の親しみをいかしたまちをつくる	大磯通の商店街を中心に区画整然とした親しみやすいまちをつくる。
B2-20	国鉄笠寺	活気ある都市型工場の景観をつくる	国鉄東海道本線や高架高速道路にはさまれた、新しい都市型の工場景観のまちをつくる。
B2-21	星崎	水際と旧集落のたたずまいをいかしたまちをつくる	天白川や水路をいかし、旧集落の家並みや緑の多い、うるおいのあるまちをつくる。
B2-22	中根	水と緑と坂をいかしたうるおいのあるまちをつくる	天白川や水路、地形や宅地の緑をいかし、水と緑のうるおいのあるまちをつくる。
B2-23	鶴里・星宮	水に緑の映えるまちをつくる	天白川や水路をいかし、水と緑のうるおいのあるまちをつくる。
B2-24	笠寺	住宅と商業のまちに歴史の趣をいかす	東海道や笠寺観音周辺の町並み、台地先端の傾斜地の緑や眺望を住宅と商業のまちにいかす。
B3-01	新守山	駅前ににぎわいのあるまちをつくる	新守山駅周辺のにぎわいと駅前の顔をつくる。住宅のまちに水路や社寺の緑をいかし、うるおいのある景観をつくる。
B3-02	白沢	住宅のまちに坂と緑と歴史をいかす	丘陵部に続く坂道や庄内川堤防を演出し、水と緑のうるおいをつくる。旧集落のたたずまいや社寺の緑を住宅地の景観にいかす。
B3-03	喜多山	住宅のまちに坂と緑のうるおいをつくる	住宅のまちに傾斜地をいかし緑のうるおいのある景観をつくる。喜多山駅周辺や瀬戸街道沿いの商業地に歴史性をいかしたにぎわいを演出する。
B3-04	大森	住宅のまちに水と緑をいかし、にぎわいをつくる	住宅のまちに丘陵の緑と矢田川の水辺をいかす。大森駅周辺や瀬戸街道沿いの商業地に、歴史性をいかしたにぎわいを演出する。
B3-05	守山	住宅のまちに緑と歴史をいかし、にぎわいをつくる	住宅のまちに段丘をいかし、緑のゆたかな見晴らしのよい家並みをつくる。史跡や旧集落のたたずまいなど歴史的景観をいかす。
B3-06	小幡	ターミナルの顔と商業地のぎわいをつくる	小幡駅を中心にターミナル環境と地域中心商業地のにぎわいをつくる。住宅のまちに傾斜地をいかし緑のうるおいのある景観をつくる。

景観自立 地区	自立地区	景観整備の基本目標	景観整備の基本方針
B3-07	廿軒家・苗代	住宅と工場のまちに水と緑のうるおいをつくる	矢田川をいかし水と緑のうるおいをつくる。河川と一体の広がりのある住宅地の景観をつくる。
C1-01	茶屋ヶ坂・自由ヶ丘	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに傾斜地の坂道や宅地の緑をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。
C1-02	城山・徳川山	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに傾斜地の坂道や宅地の緑をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。史跡とといった緑のランドマークを保全する。
C1-03	本山	緑と地形の変化に彩られた、若々しいにぎわいをもつまちをつくる	四谷・山手通の北の拠点である本山交差点付近を中心に緑と地形の変化に彩られた若々しいにぎわいのあるまちをつくる。
C1-04	伊勝	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに傾斜地の坂道や宅地の緑をいかし、明るい家並みをつくる。
C1-05	四谷・山手通	坂と緑に彩られた若々しいショッピングロードをつくる	四谷・山手通沿道の坂道や緑をいかし個性的なにぎわいのあるまちをつくる。緑の多い風致地区の住宅地の景観をまもる。
C1-06	杵中	学園と住宅のまちに坂と緑をいかす	学園と住宅のまちに地形の変化をいかし文教環境と一体の若々しいにぎわいをもつまちをつくる。
C1-07	南山・蜜柑山	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに南向きの斜面をいかし、坂と緑のある明るい家並みをつくる。
C1-08	千代田橋	住宅のまちに水と緑をいかす	住宅のまちに矢田川、香流川の河川景観をいかし、河川からの眺望に配慮したうるおいのある景観をつくる。
C1-09	平和公園	戦災復興を象徴する公園をいかす	戦災復興の成果を象徴する明るい墓地公園を充実する。緑の稜線をまもり広がりのある眺望をいかす。
C1-10	東山	緑の森のゲートイメージをつくる	東山動植物園の玄関としての顔をつくる。住宅のまちに傾斜地の坂道や宅地の緑をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。
C1-11	星ヶ丘	都心と郊外の接点となる坂と緑とにぎわいのあるまちをつくる	広小路通の峠を境に都心方面と東部郊外を結ぶゲートイメージをもつ商業のまちをつくる。住宅と文教のまちに坂道と傾斜地の緑をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。
C1-12	東山公園・八事霊場	緑の丘の眺めを楽しむ公園のまちをつくる	東部丘陵のシンボルとして市民の憩いの場となる緑地公園を充実する。住宅と文教のまちに坂道と傾斜地の緑をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。
C1-13	植田山	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに南向き斜面をいかし、緑に包まれた見晴らしのよい家並みをつくる。
C1-14	八事	大学と住宅、商業が一体となったまちに緑と地形の変化を生かす	興正寺や坂道、緑をいかした閑静な住宅のまちをつくる。大学と一体のにぎわいのある商業地をつくる。
C1-15	音聞山	緑と坂と見晴らしを文教、住宅のまちにいかす	飯田街道の沿道景観を整備し、都心方面と東部郊外のゲートイメージをつくる。住宅のまちに変化に富んだ地形や緑、社寺のある環境をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。
C1-16	元八事	川に映える緑を住宅のまちにいかす	住宅のまちに河川と丘陵の緑をいかし、水と緑のうるおいのある景観をつくる。
C2-01	猪子石・藤森	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに傾斜地や宅地の緑をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。
C2-02	猪子石原・四軒屋	住宅のまちに水と緑をいかす	住宅のまちに矢田川、香流川に囲まれた水と緑のうるおいある景観をつくる。基幹バスルート新出来町線の演出とにぎわいをつくる。
C2-03	藤ヶ丘	都心と郊外を結ぶにぎわいをもつまちをつくる	桜並木や放射状の道路をいかした個性的な街並みをつくる。駅周辺商業地を若々しい感覚の商業地に育てる。
C2-04	東名名古屋インター	東のゲートとなるまちをつくる	東名インター周辺の地形と緑をいかし、東の玄関にふさわしい顔をつくる。
C2-05	一社・上社・本郷	坂と緑と夜景の美しいまちをつくる	広小路通の坂と曲線をいかし、沿道の高層建築群と一体の緑の多い、夜景の美しい道路景観をつくる。
C2-06	西山・亀の井	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに傾斜地や宅地の緑をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。
C2-07	牧野ヶ池・梅森	水辺に緑の映える憩いのまちをつくる	牧野ヶ池緑地をいかし市民の憩いとレクリエーションの場となるまちをつくる。
C2-08	貴船・高針	住宅のまちに緑の丘の起伏をいかす	周囲の丘陵の緑に囲まれたなだらかな丘の上の明るい住宅のまちをつくる。旧集落のたたずまいの活用や、名東本通の商業的にぎわいをつくる。
C2-09	島田	住宅のまちに水と緑をいかす	天白川をいかし、水と緑のうるおいのある水際のまちの景観をつくる。住宅のまちに傾斜地の緑や集落、社寺の緑をいかす。
C2-10	植田南・平針北	郊外と都心を結ぶゲートとなるまちをつくる	地下鉄駅と飯田街道を中心に商業施設・高層住宅の集まるにぎわいのあるまちをつくる。天白川をいかし水と緑のうるおいをつくる。
C2-11	植田	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに傾斜地をいかした緑の多い見晴らしのよい家並みをつくり、稜線の緑を再生する。旧集落や社寺の緑、植田川をいかし、水と緑のうるおいをつくる。

景観自立 地区	自立地区	景観整備の基本目標	景観整備の基本方針
C2-12	平針・原	住宅と商業のまちに街道の面影をいかす	飯田街道と平針宿跡を身近な歴史としていかす。住宅と商業・工業の調和したまちをつくる。
C2-13	野並	住宅と商業のまちに水と緑をいかす	住宅のまちに天白川と丘陵の緑をいかし、水と緑のうろおいのある景観をつくる。野並交差点周辺の商業的にぎわいを演出する。
C2-14	相生山緑地	都市の自然の緑を生かした公園をつくる	丘陵と一体の自然の緑をいかした公園をつくり、周囲からの緑のランドマークとする。
C2-15	一つ山	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに坂のある傾斜地をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。宅地の緑、緑地・ため池をいかし、水と緑のうろおいのある景観をつくる。
C2-16	荒池	住宅のまちに水辺の公園と緑の坂をいかす	住宅のまちに坂のある傾斜地をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。宅地の緑、緑地・ため池をいかし、水と緑のうろおいのある景観をつくる。
C2-17	神の倉	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに坂と緑をいかし、小高い丘の緑に包まれた明るい家並みをつくる。
C2-18	白土	住宅のまちに坂と水をいかす	住宅のまちに緑に包まれたなだらかな傾斜地をいかし、見晴らしのよい明るい家並みをつくる。
C2-19	浦里・汐田	住宅と工場のまちに水と緑をいかす	住宅と工場のまちに天白川や扇川をいかし、水と緑のうろおいのある景観をつくる。
C2-20	古鳴海	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに丘陵の緑の眺望をまもり、坂と緑のうろおいのある景観をつくる。
C2-21	鳴子	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに傾斜地の坂や宅地の緑、ため池をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。
C2-22	作の山・滝の水	住宅のまちに坂と緑をいかす	住宅のまちに傾斜地の坂や宅地の緑、ため池をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。
C2-23	ほら貝	住宅のまちに坂と水をいかす	住宅のまちに傾斜地の坂や宅地の緑、ため池をいかし、見晴らしのよい家並みをつくる。
C2-24	平手	住宅のまちに坂と水をいかす	住宅のまちになだらかな傾斜と緑、扇川をいかし、見晴らしのよい明るい家並みをつくる。
C2-25	勅使ヶ池	緑の丘に水辺のいこいのあるまちをつくる	大規模緑地の緑、愛知用水や勅使ヶ池をいかし水と緑のレクリエーションの場をつくる。
C2-26	鳴海	街道沿いの町並みを商業と住宅のまちにいかす	東海道や宿場町の町並みをいかし、商店街のにぎわいをつくる。住宅のまちに扇川や丘陵の緑をいかし、水と緑のうろおいのある景観をつくる。
C2-27	大高北部・新田	工場と住宅のまちに水と緑をいかす	工場と住宅のまちに天白川をいかし、水と緑のうろおいのある景観をつくる。
C2-28	大高・鷺津	緑の丘と歴史をいかしたまちをつくる	丘陵の緑と城跡や砦跡、集落形態や町並みをいかした緑と歴史の趣きを持つまちをつくる。
C2-29	氷上・水主ヶ池	緑の丘のゲートとなるまちをつくる	丘陵の緑やため池をいかし国道や新幹線からの名古屋の玄関となる顔をつくる。
C2-30	相原	住宅のまちに水と緑をいかす	住宅のまちに扇川や傾斜地の緑をいかし、見晴らしのよい明るい家並みをつくる。
C2-31	有松裏・太子	坂と緑を住宅のまちにいかす	住宅のまちに傾斜地の緑をいかし、見晴らしのよい明るい家並みをつくる。
C2-32	有松	絞間屋のある街道沿いの町並みをいかしたまちをつくる	東海道沿いの絞間屋を中心とした町並みをいかし、商店街のにぎわいをつくる。住宅のまちに傾斜地をいかし、緑の多い見晴らしのよい家並みをつくる。
C2-33	大高緑地・左京山	緑の丘のランドマークとなるまちをつくる	丘陵の緑を東のゲートを囲む緑のランドマークとしていかし、市民の憩う公園のまちをつくる。
C2-34	桶狭間	坂と緑と歴史をいかしたまちをつくる	傾斜地やため池などの自然と古戦場などの歴史をまちづくりにいかす。
C3-01	吉根西	水際に緑の映えるまちをつくる	庄内川沿いの緑化や、周囲の緑の保全により自然景観の豊かなまちをつくる。
C3-02	吉根東	緑の丘のうろおいのあるまちをつくる	丘陵の変化のある地形や緑、ため池をいかした自然のうろおいのある住宅地の景観をつくる。
C3-03	志段味西	水際に緑の映える産業のまちの景観をつくる	庄内川沿いや東名高速道路沿道の緑化や段丘の緑の保全により、庄内川に緑の映える公園的環境の中での生産・研究活動が行なわれるまちをつくる。
C3-04	志段味中央	周囲の自然景観をいかした地域中心のまちをつくる	ゆるやかな傾斜、周囲の丘陵の緑を背景にとり込んだ新しい地域中心となるまちをつくる。
C3-05	志段味北	水際の緑と田園風景をいかすまちをつくる	庄内川と一体の段丘の緑を保全し豊かな自然景観をまもる。広々とした田園景観や旧集落のたたずまいをいかす。
C3-06	志段味東	坂と緑と歴史を住宅のまちにいかす	周囲の丘陵の緑を背景にした、庄内川やため池、田園風景など変化のある自然をいかす。集落や社寺、遺跡をいかしたまちをつくる。
C3-07	竜泉寺	庄内川に段丘の緑と歴史を映すまちをつくる	庄内川と一体の段丘の緑をまもる。龍泉寺街道のゆるやかな曲線と起伏のある緑の沿道景観をいかす。
C3-08	大森北	学園のまちに坂と緑をいかす	住宅と学園のまちに南向きの緑豊かな斜面地をいかす。
C3-09	東谷山・森林公園	緑の丘がランドマークとなるまちをつくる	市内で最も高い東谷山や庄内川の渓谷風景など自然に親しむことのできる市民の憩いの場をつくる。
C3-10	志段味南	緑の丘にうろおいのあるまちをつくる	丘陵の変化のある地形や緑、ため池をいかした自然のうろおいのある住宅地の景観をつくる。
C3-11	小幡緑地	緑の丘がランドマークとなるまちをつくる	丘陵の緑の保全や周囲の景観コントロールにより緑のランドマークをまもる。ため池の水辺と緑を活用し憩いとレクリエーションの場をつくる。